

令和3年4月14日

保護者の皆様

仙台市立高砂小学校
校長 早坂 敦哉

負の連鎖を断ち切るために…

昨日は突然の臨時休校となり、ご心配やご迷惑をおかけしました。これも子供たちの健康と安全を第一に考えた上での判断ですので、ご理解くださいますようお願い申し上げます。

おかげさまで、昨日の午前中には校内の消毒作業を終え、午後からは教職員も出勤し学校再開の準備を行いました。本日は臨時の放送朝会で、私から子供たちへ「今一番つらい思いをしているのは、感染している本人やその家族です。もし、自分が感染したらどんな気持ちになるかを考えてみましょう。」というお話をしました。（以下に掲載いたします。）その後、担任からも校長の話について各学年の発達段階に応じて補足説明を行いました。

新型コロナウイルスに打ち勝つためには、ウイルスのことを正しく知る必要があります。『新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう』という日本赤十字社制作の資料をご紹介します。昨年ワクチン開発以前の資料ではありますが、『病気』『不安と恐れ』『嫌悪、偏見、差別』の負の連鎖を断ち切るためにはどうしたらよいか…。ぜひ、ご家族でご覧いただき、話題にしていただければ幸いです。学校ホームページにURLを掲載いたします。

放送朝会での校長から子供たちへの話

2021, 4, 14

皆さんおはようございます。

高砂小学校の子供たちが元気に学校に来てくれるか、とても心配していましたが、今朝、皆さんの顔を見て、うれしい気持ちでいっぱいになりました。

先日、新型コロナウイルスに感染したお友達が出てしまって、皆さんも、おうちの人とても心配していると思いますが、休校の間に、学校はしっかり消毒をしてみなさんを迎えています。安心して、落ち着いて学習に取り組んでほしいと思います。

これまでと同じように、こまめに手を洗うこと、マスクをすることなどは、自分のためだけではなく、友達や大切な家族の感染を防ぐためにとても大切です。協力してくださいね。

こうしたときには、眠れない、イライラする、集中できない、落ち着かないなど、自分の心や体にいろいろな変化が出てくるかもしれません。皆さんはどうでしょうか。これは、いつもとは違う生活の中で起きる、とても自然なことです。どうか心配しないで、そのようなときは、先生やおうちの人などに相談してください。

今一番つらい思いをしているのは、感染している本人やその家族です。もし、自分が感染したらどんな気持ちになるかを考えてみましょう。これから、学校で具合の悪くなる友達がいるかもしれません。また、皆さんの周りに感染する人が出てくるかもしれません。しかし、具合の悪くなった人や感染した人が悪いわけではありません。高砂小学校の皆さんは、誰がコロナになったなどとうわさをしたり、相手を差別したり責めたりすることはないと信じています。これからも、優しい気持ちでお互いを思いやりながら学校生活を送っていきましょう。

高砂小学校の全員が、安心して楽しい学校生活を送ることができるように一人一人が気を付けていきましょうね。

以上で、お話を終わります。